

長野県子どもと子育て家庭の生活実態調査 (中2保護者用アンケート用紙)

日ごろから県政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケートは、近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中で、子育て家庭の生活実態をしっかりと把握し、より効果的な子育て支援策（子どもの貧困対策、子育てと仕事の両立支援など）を検討するために実施するものです。

住民基本台帳から無作為に抽出した長野県内の12,000世帯（小学校1年生、小学校5年生、中学校2年生、16～17歳のお子さんがいる世帯）にお送りしていますので、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力をお願いします。

回答にあたってのお願い

- このアンケートは、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がお答えください。
(封筒の宛名は主に世帯主の方になっていますが、保護者であれば、世帯主以外の方にお答えいただいても構いません。)
- このアンケート用紙の質問にある「お子さん」とは、封筒の宛名のお子さんを指します。
そのお子さんに兄弟姉妹がいる場合も、封筒の宛名の「お子さん」についてお答えください。
- 選択肢のある問いは、選択肢の番号に○をつけてください。選択肢の「その他」を選んだ場合は、() 内にその内容を記入してください。
- このアンケートは無記名です。お名前は記入しないでください。
- あなたご自身やご家庭のことについて、立ち入ったことをお聞きします。答えにくい質問や答えたくない質問には答えていただく必要はありません。このアンケートは、無記名でかつ回答結果を全て統計処理することにより、プライバシーが守られていますので、可能な範囲でありのままをお答えください。
- 質問の中にはご家庭の習慣やお子さんの遊び方などについてお伺いする内容がありますが、それらの内容は、県として推奨するものでも否定するものでもありません。あくまで生活の実態を把握するためにお伺いするものです。
- 記入が終わったアンケート用紙は、お子さんの調査票と一緒に、提出用封筒（薄緑色）に入れて、7月11日（月）までにポストに投函してください。（切手は必要ありません。）

【アンケートの問い合わせ先】

長野県 県民文化部 こども若者局 次世代サポート課

直通電話 026-235-7207

受付日時 月～金曜日（祝日を除く） 8:30～17:15

あなたのこと、あなたの世帯のことについて

問1 あなたの住んでいる市町村を教えてください。(1つに○)

1 長野市	2 松本市	3 上田市	4 岡谷市	5 飯田市
6 諏訪市	7 須坂市	8 小諸市	9 伊那市	10 駒ヶ根市
11 中野市	12 大町市	13 飯山市	14 茅野市	15 塩尻市
16 佐久市	17 千曲市	18 東御市	19 安曇野市	20 小海町
21 川上村	22 南牧村	23 南相木村	24 北相木村	25 佐久穂町
26 軽井沢町	27 御代田町	28 立科町	29 青木村	30 長和町
31 下諏訪町	32 富士見町	33 原村	34 辰野町	35 箕輪町
36 飯島町	37 南箕輪村	38 中川村	39 宮田村	40 松川町
41 高森町	42 阿南町	43 阿智村	44 平谷村	45 根羽村
46 下條村	47 売木村	48 天龍村	49 泰阜村	50 喬木村
51 豊丘村	52 大鹿村	53 上松町	54 南木曾町	55 木祖村
56 王滝村	57 大桑村	58 木曾町	59 麻績村	60 生坂村
61 山形村	62 朝日村	63 筑北村	64 池田町	65 松川村
66 白馬村	67 小谷村	68 坂城町	69 小布施町	70 高山村
71 山ノ内町	72 木島平村	73 野沢温泉村	74 信濃町	75 小川村
76 飯綱町	77 栄村			

問2 お子さんとあなた(回答者)との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄で、お答えください。(1つに○)

1 父親	2 母親	3 祖父
4 祖母	5 兄・姉	6 その他
7 施設職員	(具体的に:)	

(→施設職員の方は以後の設問に対して、回答できる範囲で回答してください)

問3 あなたの年齢を教えてください。(枠内に数字で回答してください)

	歳
--	---

問4 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(1つに○)

1 結婚している(事実婚を含む)	2 離婚 →問4-1
3 死別	4 未婚・非婚

問4-1 問4で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(1つに○)

1 取り決めをしており、養育費を受け取っている
2 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
4 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

問5 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください(あなたとお子さんも含む)。単身赴任しているご家族や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めてお考えください。

	人
--	---

問6 お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。それぞれ、人数もお教えてください。(あてはまるものすべてに○、人数は数字で回答してください)

なお、単身赴任しているご家族や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めてお考えください。

1 父親	2 母親	3 祖父 (人)
4 祖母 (人)	5 兄 (人)	6 姉 (人)
7 弟 (人)	8 妹 (人)	
9 その他の親戚 (人)		10 その他 (人)

問7 あなたのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(あてはまるものがあれば○)

1 お子さんの父親が単身赴任中	2 お子さんの母親が単身赴任中
3 その他 ()	4 単身赴任中の者はいない

問8 お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護が必要な方はいますか。(1つに○)

1 いる	2 いない
------	-------

問9 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a～cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)また、aが「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

	子育てに関する相談	重要な事柄の相談	いざという時のお金の援助																												
a 頼れる人がいる	1	1	1																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px;">家族・親族</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>友人・知人</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>近所の人</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td>職場の人</td> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> <tr> <td>民生委員・児童委員</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> <tr> <td>相談・支援機関や福祉の人</td> <td style="text-align: center;">⑥</td> <td style="text-align: center;">⑥</td> <td style="text-align: center;">⑥</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: center;">⑦</td> <td style="text-align: center;">⑦</td> <td style="text-align: center;">⑦</td> </tr> </table>	家族・親族	①	①	①	友人・知人	②	②	②	近所の人	③	③	③	職場の人	④	④	④	民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤	相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥	その他	⑦	⑦	⑦			
家族・親族	①	①	①																												
友人・知人	②	②	②																												
近所の人	③	③	③																												
職場の人	④	④	④																												
民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤																												
相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥																												
その他	⑦	⑦	⑦																												
b いない	2	2	2																												
c そのことでは人に頼らない	3	3	3																												

問10 お子さんのご両親の国籍を、それぞれ教えてください。(①・②それぞれ1つに○)

①母親	1 日本	2 日本以外
②父親	1 日本	2 日本以外

問11 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。(枠内に数字で回答してください)

※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。

※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含みます。

		1回あたり金額
①児童手当	所得が一定水準以下の、中学校修了前のお子さんを持つ世帯を支援するための手当。4か月に1回支払われます。	円
②児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親等世帯の支援のための手当。2か月に1回支払われます。	円
③特別児童扶養手当	所得が一定水準以下で、心身に障がいをもつ児童のいる世帯の支援のための手当。4か月に1回支払われます。	円
④年金(遺族年金、老齢年金など)	遺族年金、障害年金、老齢年金など、2か月に1回支払われます。	円
⑤生活保護	病気や失業などのため、一定の条件により、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の8種類について援助が受けられる制度。	円

問12 前年(2021年1~12月)のあなたの世帯全体の可処分所得(手取り)総額は、合計でおよそいくらですか。就労による所得(会社員の方等は住民税を引く)に加え、児童手当・児童扶養手当等・雇用保険等の支給額や、特別定額給付金(新型コロナウイルスに係る給付金)、親族等からの仕送り等を足した金額でお答えください。(1つに○)

※就労による可処分所得(手取り) + 児童手当等の支給額等(年間分)をお答えください。

※次のページの参考をみてお答えください。

[以下の参考をみて算出]

[問11で回答したもの等の年間分を含めて算出]

1 120万円未満	2 120~175万円未満	3 175~210万円未満
4 210~245万円未満	5 245~275万円未満	6 275~300万円未満
7 300~325万円未満	8 325~345万円未満	9 345~365万円未満
10 365~385万円未満	11 385~400万円未満	12 400~550万円未満
13 550~700万円未満	14 700万円以上	

<参考：就労による可処分所得（手取り）について >

$$\text{所得} = \text{収入} - \text{必要経費} - \text{住民税} = \text{可処分所得 (手取り)}$$

(支払金額) (社会保険料、所得税)

源泉徴収票
でみると

源泉徴収票に記載
されませんが、所
得から住民税を引
いてください

令和2年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所	源泉徴収市1-2-3		氏名	源泉 太郎			
				(受給者番号)	00000123			
				(フリガナ)	ゲンセン タロウ			
				(役職名)				
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額				
給料・賞与	① 5,000,000	1,310,000	③ 218,400					
控除対象配偶者の有無	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く)	障害者の数 (本人を除く)	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額	
有無				② 500,000	50,000			
国民年金保険料等の金額	介護医療保険料の金額	配偶者の合計所得	新個人年金保険料の金額	新生命保険料の金額	旧個人年金保険料の金額	旧生命保険料の金額	旧長期損害保険料の金額	
				100,000				
中途就・退職	受給者生年月日							
就職退職年月日	大昭平	* 50 08 24						
支払者	住所(居所)又は所在地	源泉徴収市1-1-1						
	氏名又は名称	株式会社 源泉商事		(電話)				
税務署整理欄								

所得は 4,281,600 円
= 5,000,000 円 - (500,000 円 + 218,400 円)

① ② ③

個人事業主
の方は

確定申告の所得税及び復興特別所得税の申告書Bに記載されています。

商売・事業によって得られた売上「収入」から、その売上を上げるためにかかった仕入や人件費などの「経費」を引いた金額が「所得」です。そして、①所得から②社会保険料、所得税、住民税等の必要経費を引いたものが可処分所得（手取り）です。

$$\text{収入 (事業の売上)} - \text{経費 (仕入や人件費)} = \text{所得 ① (事業の儲け)}$$

$$\text{所得 ① (事業の儲け)} - \text{必要経費 ② (社会保険料、所得税、住民税等)} = \text{可処分所得 (手取り)}$$

お子さんの母親・父親の職業について

問 13 お子さんのご両親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(①・②それぞれあてはまる1つに○)

	①母親	②父親
1 正社員・正規職員・会社役員	1	1
2 嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
3 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
4 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4
5 働いていない(専業主婦/主夫を含む) →問 13-1	5	5
6 いない、わからない	6	6

問 13-1 問 13 で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(①・②それぞれあてはまる1つに○)

	①母親	②父親
1 働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
2 子育てを優先したいため	2	2
3 家族の介護・介助のため	3	3
4 自分の病気や障がいのため	4	4
5 通学しているため	5	5
6 その他の理由	6	6

お子さんのことについて

問 14 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(①・②それぞれ1つに○)

	中学	高校	専門学校	短大・高専	大学またはそれ以上	まだわからない
①理想的な教育段階	1	2	3	4	5	6
②現実的な教育段階	1	2	3	4	5	6

問 14-1 問 14 の②現実的な教育段階で、そのように答えた理由を選んでください。(1つに○)

1 子どもが希望しているから	2 一般的な進路だと思うから
3 お子さんの学力から考えて	4 家族の経済的な状況から考えて
5 その他(具体的に:)	6 特に理由はない

あなたとお子さんの健康状態などについて

問 15 あなたとお子さんの健康状態についてお伺いします。それぞれ、最も近いものに○をつけてください。(①、②それぞれ1つに○)

	よい	まあよい	普通	あまりよくない	よくない
①あなた(回答者)	1	2	3	4	5
②お子さん	1	2	3	4	5

問 16 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(1つに○)

1 あった →問 16-1	2 なかった
---------------	--------

問 16-1 問 16 で「1 あった」と回答した方にお伺いします。その理由は、何ですか。以下の中から、最も近いものに○をつけてください。(1つに○)

1 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
2 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金(3割負担)を支払うことができないと思ったため
3 子ども本人が受診しなかったため
4 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
5 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
6 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
7 自分の健康状態が悪かったため
8 その他(具体的に:)

全員にお伺いします。

問 17 次の①～③の質問について、あなたの気持ちをお聞かせください。(①～③それぞれ1つに○)

	あてはまる	どちらかと言えばあてはまる	どちらかと言えばあてはまらない	あてはまらない
①子どもの成長が楽しみだ	1	2	3	4
②自分の将来に希望を持っている	1	2	3	4
③自分は幸せだと思う	1	2	3	4

問 18 子育てをする上で、あなたが大変だと感じていること、悩んでいることを選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1 子どもの健康管理・食生活	2 子どもの発達
3 子どもと過ごす時間の確保	4 子どものしつけが難しいこと
5 生活習慣や勉強を教えること	6 学習習慣の定着・学力の向上
7 子どもの受験・進学	8 子どもの意欲の維持・向上
9 子どもの将来の就職	10 子どもの友人関係
11 一人で子育てしている孤立感	12 配偶者の無関心・非協力
13 仕事と子育ての両立	14 自分がほっとする時間がない
15 地域の理解が少ない	16 職場の理解が少ない
17 相談相手・相談先がない	18 生活費の確保
19 教育費の確保	20 修学旅行・部活の遠征費等の確保
21 将来の進学のための学費の貯金等	22 特にない
23 その他（具体的に： _____）	

子育てにかかる費用について

問 19 お子さんの教育費のうち負担が重いものは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

1 給食費	2 学級費、教材費などの学校徴収金
3 修学旅行などの積立	4 制服、靴、かばんなど学校指定用品
5 クラブ活動の費用	6 学習塾、通信教育、習い事など学校以外の教育費
7 授業料（私立学校）	8 その他（具体的に： _____）

お子さんとのかわりについて

問 20 新型コロナウイルス感染症が拡大する以前、あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。(①～⑧それぞれ1つに○)

	している	していない		
		金銭的な理由で	時間の制限で	その他の理由で (家族の方針や健康など)
①博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
②スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
③映画に行く	1	2	3	4
④キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
⑤スキーやスケートに行く	1	2	3	4
⑥海水浴に行く	1	2	3	4
⑦遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
⑧デパートやショッピングモールに行く	1	2	3	4

あなたのご家庭での生活について

問 21 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

0:まったく満足していない							10:十分に満足している			
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 22 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（1つに○）

1 大変ゆとりがある	2 ややゆとりがある	3 普通
4 やや苦しい	5 大変苦しい	

問 23 あなたのご家庭では、過去1年間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。（1つに○）

1 よくあった	2 ときどきあった	3 まれにあった
4 まったくなかった		

問 24 あなたのご家庭では、過去1年間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。（1つに○）

1 よくあった	2 ときどきあった	3 まれにあった
4 まったくなかった		

問 25 過去1年間に、経済的な理由で、以下の①～⑤のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。（①～⑤それぞれ1つに○）

	あった	なかった	該当しない(払う必要がない)
①電話料金	1	2	3
②電気料金	1	2	3
③ガス料金	1	2	3
④水道料金	1	2	3
⑤家賃(または住宅ローン)	1	2	3

問 26 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。①～⑨についてあてはまるものに○をつけてください。(①～⑨それぞれ1つに○)

	している	していない		
		家族の方針でない	経済的にできない	その他の理由で
①毎月お小遣いを渡す	1	2	3	4
②毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3	4
③習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	1	2	3	4
④学習塾に通わせたり、通信教育を受ける(または家庭教師に来てもらう)	1	2	3	4
⑤お誕生日のお祝いをする	1	2	3	4
⑥クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3	4
※⑦～⑨は新型コロナウイルス感染症が拡大する以前のことをお答えください。				
⑦1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3	4
⑧子どもの学校行事などへ親が参加する	1	2	3	4
⑨PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問 27 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 子どもの年齢に合った本	2 電子レンジ
3 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	4 電話(固定電話・携帯電話を含む)
5 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	6 インターネットにつながるパソコン
7 洗濯機	8 新聞の定期購読(インターネット含む)
9 炊飯器	10 世帯専用のおふろ
11 掃除機	12 世帯人数分のベッドまたは布団
13 暖房機器	14 急な出費のための貯金(5万円以上)
15 冷房機器	16 あてはまるものはない

お子さんの父親と母親のこれまでの経験について

回答者がお子さんの父親・母親でない場合は、問 31 にお進みください。

問 28 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）は次のどちらにあたりますか。（①・②それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

※お子さんの母親または父親がいらっしゃらない場合は、その方の欄は回答不要です。

	①母親	②父親
中学校	1	1
高等学校(全日制)	2	2
高等学校(定時制または通信制)	3	3
高等専修学校(中学校卒業後に進む1～4年間の専修学校)	4	4
高等専門学校(中学校卒業後に進む5年間の学校、高専)	5	5
短期大学	6	6
専門学校(高校卒業後1～4年間程度の専修学校専門課程)	7	7
大学	8	8
大学院	9	9
その他	10	10
わからない	11	11

問 29 あなたが 15 歳の頃のご家庭の様子に最も近いものに○をつけてください。（1つに○）

1 両親世帯（祖父母との同居あり）	2 両親世帯（祖父母との同居なし）
3 母子世帯（祖父母との同居あり）	4 母子世帯（祖父母との同居なし）
5 父子世帯（祖父母との同居あり）	6 父子世帯（祖父母との同居なし）
7 児童養護施設などの施設	8 その他（具体的に： _____）

問 30 あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。（1つに○）

1 大変ゆとりがあった	2 ややゆとりがあった	3 普通
4 やや苦しかった	5 大変苦しかった	

公的支援の利用状況などについて

問 31 あなたは、子どもに関する施策等の情報を、今後、どういう方法で受け取りたいですか。（あてはまるものすべてに○）

1 行政機関の広報誌	2 行政機関のホームページ
3 SNS（LINE、ツイッターなど）	4 学校からのお便り（紙のもの）
5 学校からのメール	6 家族や友人からの情報
7 その他（具体的に： _____）	8 受け取る必要はない

問 32 封筒の宛名のお子さんについて、以下の①～⑤の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(①～⑤それぞれ1つに○)

	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない						
			利用したいと思っ た ことがなかった	満 た し て い な か っ た	利 用 し た か っ た が、 条 件 を	抵 抗 感 が あ っ た	利 用 し た か っ た が、 使 い づ ら か っ た	利 用 時 間 や 制 度 等 が	わ か ら な か っ た
①子ども食堂	1	2	3	4	5	6	7	8	9
②フードバンクによる食料支援	1	2	3	4	5	6	7	8	9
③中学生以上の子供が自由に過ごせる場所	1	2	3	4	5	6	7	8	9
④学校が実施する補講(学習支援)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑤学校以外が実施する学習支援	1	2	3	4	5	6	7	8	9

<参考>

①子ども食堂	「信州こどもカフェ」など、子どもたちの食の支援、居場所の支援等を目的に、民間団体などが無料または格安で食事を提供している場所。
②フードバンク	まだ食べられるにもかかわらず処分されてしまう食品を、NPOなどが食品メーカー等から引き取って、福祉施設や支援を必要とする人へ無料で提供する活動。

問 33 今後、充実を希望する子育て支援サービスは何ですか。(あてはまるもの5つまでに○)

1 職場環境の整備について企業へ働きかけ	2 育児休業後の職場復帰の支援
3 再就職のための支援	4 悩みを相談できる支援体制の充実
5 同じ悩みを持つ人の交流の場の創設	6 地域の人や民間支援団体による支援
7 病気や障がいなどへの専門的な支援	8 男性の育児・家事参加の意識啓発
9 子育て支援情報の充実	10 子どもの医療費の軽減の充実
11 子どもの就学に係る費用の軽減	12 子どもの塾代・受験料への支援
13 無料学習塾の充実	14 子ども食堂の充実
15 一時的に必要な資金の貸与	16 公営住宅の整備など住宅確保のための支援
17 その他(具体的に：)	

問 34 あなたのご家庭では、以下の①～⑦の支援制度等を、これまでに利用したことがありますか。
 利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(①～⑦それぞれ
 1つに○)

	現在 利用している	現在 利用していないが、以前利 用したことがある	利用したことがない					
			利用したいと思ったことが なかった(そもそも制度等 の対象外であった)	利用したかったが、抵抗感 があった	利用したかったが、条件を 満たしていなかった	利用したかったが、 制度等が使えなかった	利用の仕方が わからなかった	制度等について まったく知らなかった
①生活福祉資金	1	2	3	4	5	6	7	8
②生活保護	1	2	3	4	5	6	7	8
③母子及び父子福祉資金	1	2	3	4	5	6	7	8
④児童扶養手当	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤就学援助	1	2	3	4	5	6	7	8
⑥生活困窮者の自立支 援相談窓口	1	2	3	4	5	6	7	8
⑦母子家庭等就業・自立 支援センター	1	2	3	4	5	6	7	8

<参考>

①生活福祉資金	所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は市町村の社会福祉協議会。
②生活保護	病気や失業などのため、生活費や医療費に困り、ほかに方法がない時は一定の条件により、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の8種類について援助が受けられる制度。窓口は市町村の生活福祉担当課。
③母子及び父子福祉資金	ひとり親世帯を対象にした、低利または無利子の資金貸付。窓口は市町村の生活福祉担当課。
④児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親等世帯の支援のための手当。窓口は市町村の子育て支援担当課。(児童手当とは異なります。)
⑤就学援助	経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。

問 35 あなたは、これまでに困った時に以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(①～⑥それぞれ1つに○)

	相談したことがある	相談したことがない			
		相談したいと思ったことがなかった	相談したが、抵抗感があった	相談時間や場所などが使いづらかった	相談する窓口や方法がわからなかった
①市役所・町村役場の窓口	1	2	3	4	5
②学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど	1	2	3	4	5
③民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
④保健福祉事務所・保健センター	1	2	3	4	5
⑤ハローワーク	1	2	3	4	5
⑥上記以外の公的機関	1	2	3	4	5

問 36 次の①～⑥の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。(①～⑥それぞれ1つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
①神経過敏だ	1	2	3	4	5
②絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
③そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
④気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
⑤何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
⑥自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 37 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（①～⑦それぞれ1つに○）

	増えた	減った	変わらない
①世帯全体の収入の変化	1	2	3
②生活に必要な支出の変化	1	2	3
③お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと	1	2	3
④お子さんと話をする事	1	2	3
⑤家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
⑥あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
⑦お子さんに手を挙げたり、きつくしかったりした	1	2	3

問 38 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、次のようなことを経験しましたか。（①・②それぞれあてはまるものすべてに○）

	①母親	②父親
希望しない形での転職	1	1
失業（職場都合での失業）	2	2
退職（自主退職）	3	3
勤務先の増加（ダブルワーク等）・副業	4	4
希望しない勤務形態（パート等）の変化	5	5
希望しない労働時間の減少	6	6
希望しない時間帯・曜日での勤務	7	7
収入の減少	8	8
上記のようなことは経験していない	9	9

問 39 あなたが今、子育てで困っていることや悩みごと、子育てに関する意見がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。